

# 池多小学校のあり方協議会だより

令和6年5月発行

No.1

こんにちは！池多小学校のあり方協議会です。

当協議会は、主に「学校再編の方向性(統合・存続)」について地域主体で話し合うことを目的に設立し、丁寧かつ慎重に議論を進めてまいります。

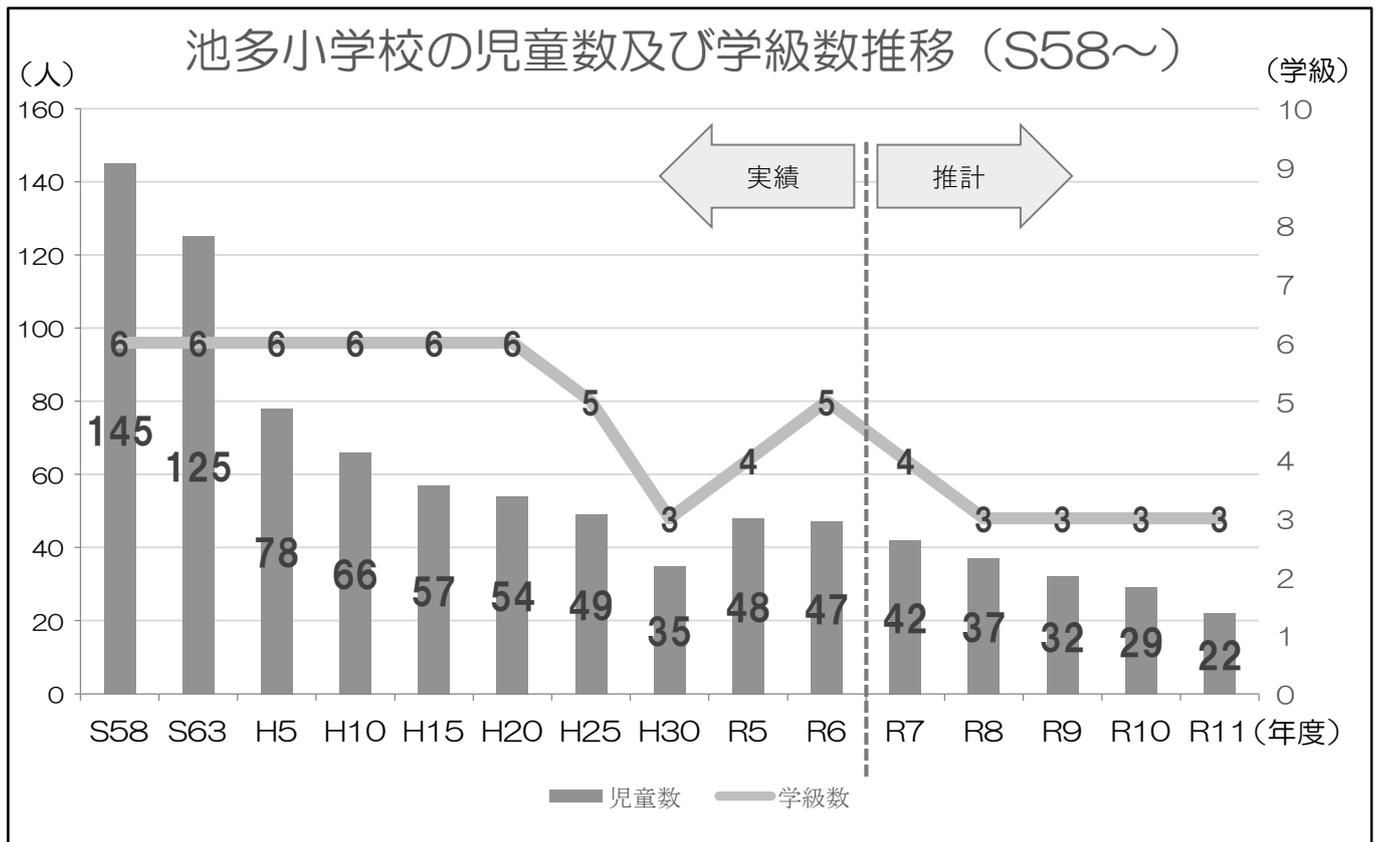
まずは令和6年4月24日(水)、池多地区センターにおいて協議会の設立総会を開催し、これまで市内で設立された協議会の事例紹介や今後の活動内容についての協議を行いました。

**池多小学校の方向性(統合・存続)について丁寧に話し合いを進めてまいります。**

## <委員の紹介>

役職名	氏名	所属・役職	役職名	氏名	所属・役職
会長	林 正 幸	池多地区自治振興会会長	委員	松岡 英治	開ヶ丘町内会長
副会長	中山 治彦	池多小学校PTA会長	//	有澤 久志	池多小学校教育後援会長(主任児童委員)
監 事	奥野 明博	池多地区自治振興会副会長(三熊町内会長)	//	高山 芳樹	池多小学校PTA相談役
委員	田上 和信	西押川町内会長	//	田上 和彦	池多小学校PTA監事
//	藤井 泰三	北押川町内会長	//	岡崎 能理子	池多保育所保護者会会長
//	山崎 信司	山本町内会長	//	小谷 祐美	池多児童クラブ育成協議会会長
//	栗林 信夫	平岡町内会長			

※当協議会の事務局として、市教育委員会がサポートすることとなりました。



## ◆第1回協議会の様子をお伝えします◆

### 委員からの主な意見

- ・親世代としては、早い時期に統合に向けた話し合いを進めていきたいと考えている。
- ・統合して学校が地域からなくなった場合、学校の跡地がどのように活用されるのか事例等があれば知りたい。
- ・子どもが小さい親たちの考えがやっぱり一番大事だと思うが、地域としては、学校がなくなったらどうなるのかという思いはある。
- ・統合を検討している古沢地区や統合先の候補となる老田地区の考えも聞きながら、議論を進めたい。
- ・池多小学校、池多地区ならではの良さを、どう残していくかという点も考えていきたい。
- ・小学校の統合というとデメリットばかりが頭に浮かぶが、統合することで地元に住みながら、ある程度人数のいる学校に通えるというようなメリットが伝われば、地域の人にも納得してもらえるのではないかと。



## ◆地域協議の流れと議論の進め方◆

### 地域協議のステップと目的

#### STEP1

将来の学校のあり方協議会  
(池多小学校のあり方協議会)

- ・再編対象校区別に立ち上げます。
- ・地域主体で、学校再編の方向性(統合・存続)について合意形成を図ります。

#### STEP2

統合検討協議会

市へ統合の申入れ

- ・統合を検討する方向性となった場合、相手方の学校がある地域と合同で立ち上げます。
- ・統合の可否について話し合います。



#### STEP3

統合準備協議会

統合

- ・市へ統合の申入れをした後、学校生活に必要な学用品や通学方法などを具体的に話し合います。

### 本協議会の議論の進め方

会則やメンバー等の決定  
話し合う内容の確認

第1回(4月24日)では  
ここまで議論しました。

再編の方向性の決定  
(合意形成)

①

学校統合を視野に  
STEP2へ進む場合

どの学校(校区)と  
統合について  
話し合うか決めます。

②

当面の間(5~10年間)  
統合しない場合

児童数の変動を  
注視しながら、  
議論を再開する  
タイミング(時期)  
を確認します。

将来の子どもたちにとって重要な選択をするための大切な議論です。

### ◆問い合わせ先(当協議会の事務局)◆

富山市教育委員会事務局 学校再編推進課(担当:高岡・大関)  
○所在 富山市新桜町6番15号 Toyama Sakuraビル7階  
○電話 076-443-2241 ○FAX 076-443-2194  
○E-mail gakkousaihen@city.toyama.lg.jp

※本協議会の模様は市ホームページ(右記QRコード)にて公開しています。



協議会の内容はこちらから